

コンポスト 5 年目アンケート（ごみげん） アンケート結果まとめ

対象者 令和 2 年度～6 年度のコンポスト事業参加者の内メールアドレス登録の方

実施期間 令和 7 年 10 月 10 日～10 月 31 日

内 容 過去の参加者を対象に、現在のコンポストの取組状況について、15 の質問を実施。
(アンケート設問 後添)

【回収結果】

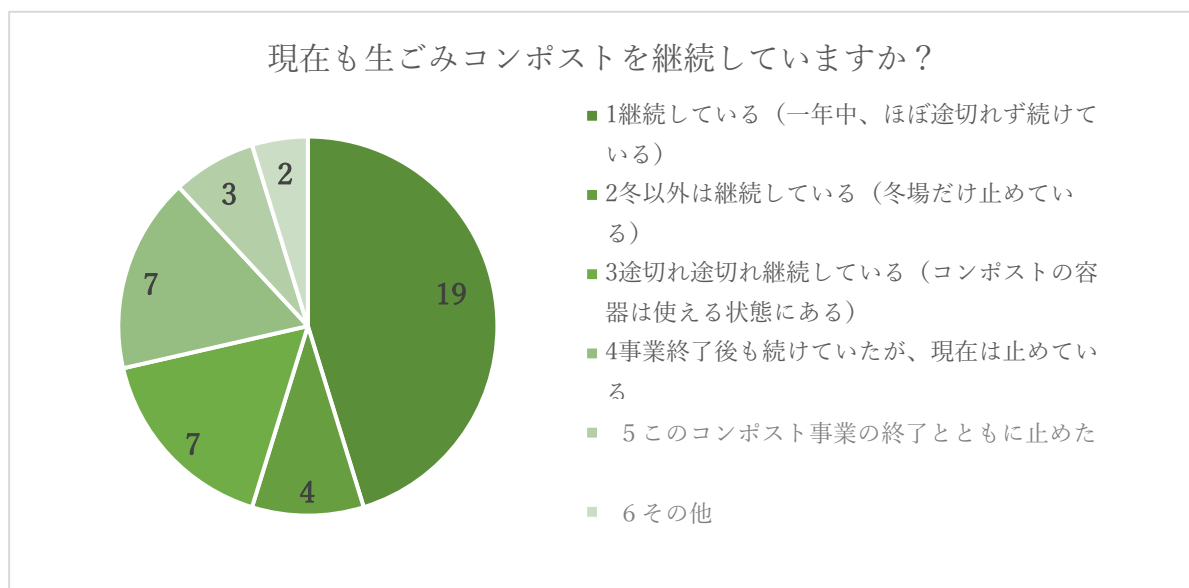
- 対象者数 86 名（R2～R6 参加者で、メールで案内ができる方）
- 回答者数 43 名

【成果と課題】

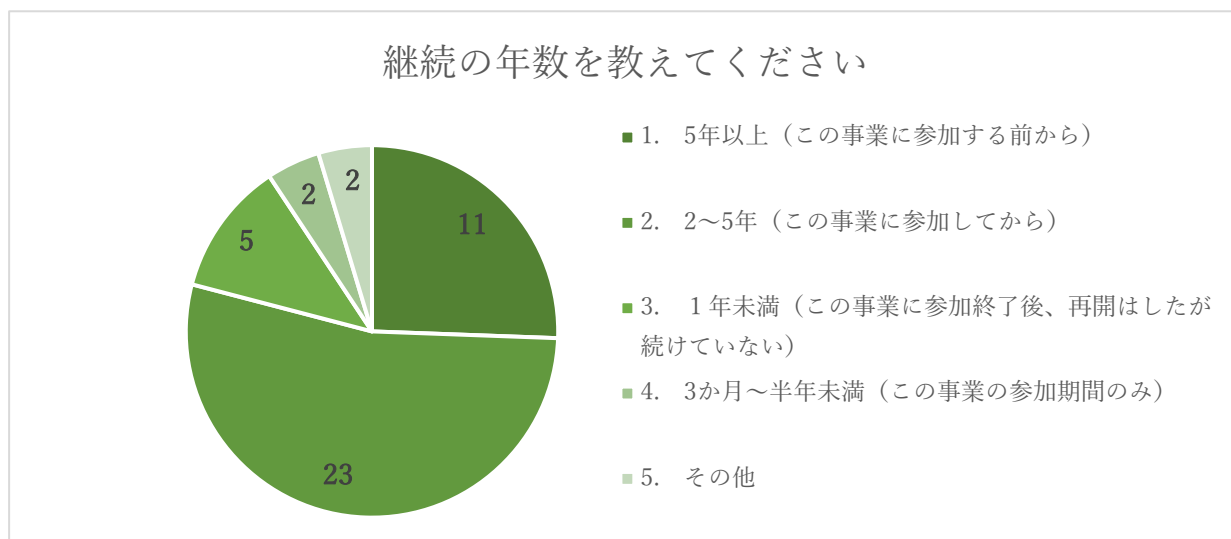
- 1 年を通じてコンポストしている人が約半数で、4 割が生ごみをほぼ（9 割以上）コンポストしている。
- この事業に参加したことをきっかけに、現在まで継続している人が 6 割。
- プランターでのコンポストが一番多く、一般的な 20cm×40cm サイズの回答が多かった。
- 半数以上の人は基材の入替はせず、同じ基材で続けている。
- 取り組むメリットとしては、ごみの減量と、堆肥として活用できること、自然への歓心を挙げる人が多い。
- デメリットは、近所への臭いや虫が気になるとの声が目についた。
- 気温の低い季節は止めている人が一定数あり、続けにくさへの対策を考えたい。
- 相談の機会として講座開催の希望が多く、また、身近な場所での回収やネットワークづくりへの期待もあった。
- 自由記述に多くの意見をいただいた。少しでもそれに応え、継続する方、新たに始める方を増やしていきたい。

1 項目別アンケート回答の結果

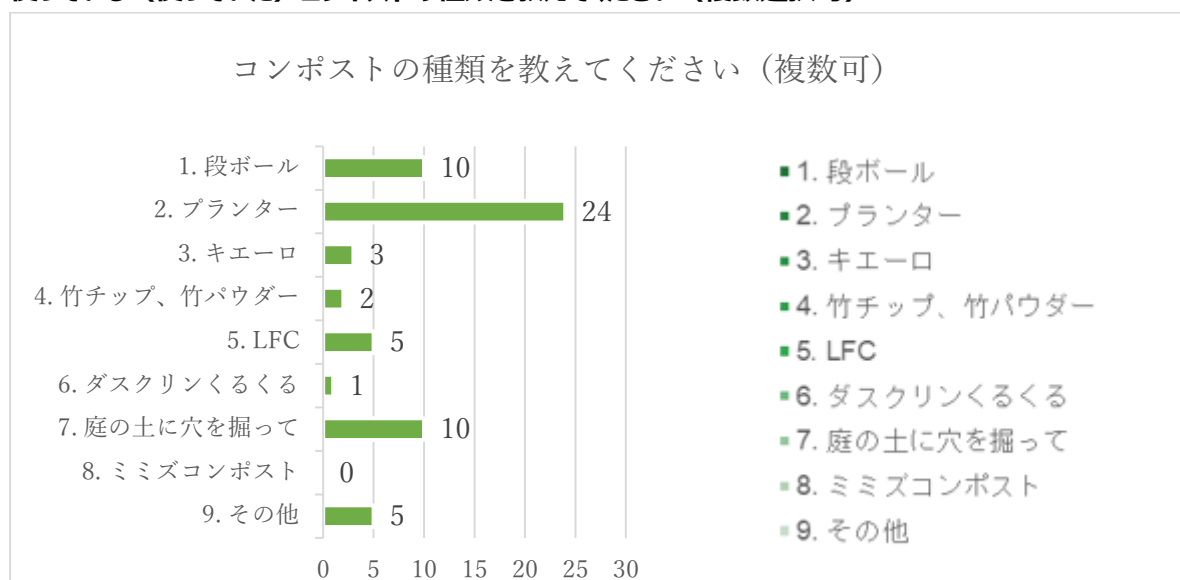
① 現在も生ごみコンポストを継続していますか？



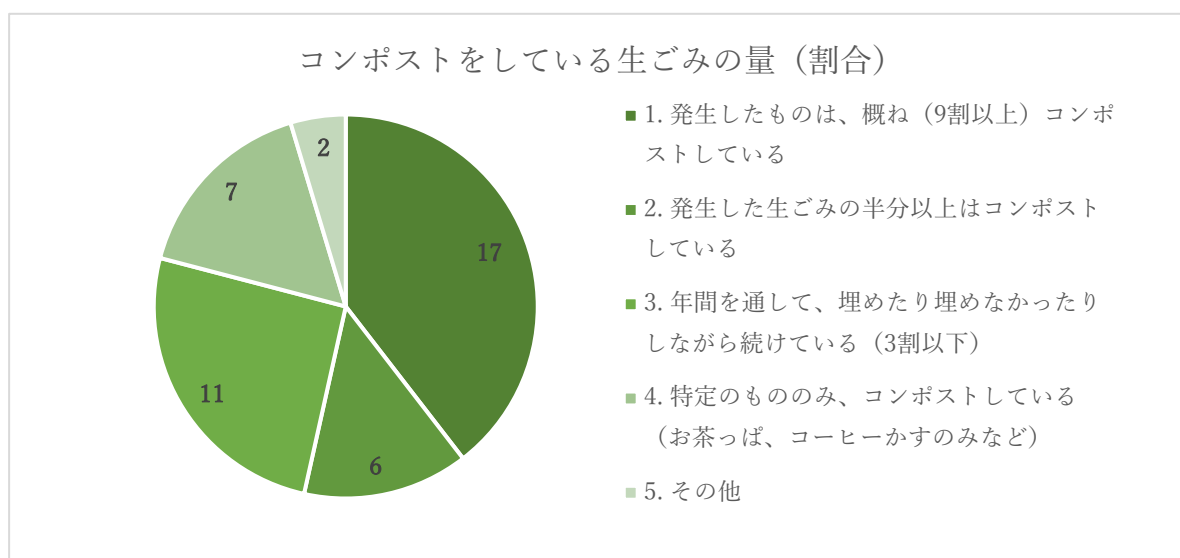
② 継続の年数を教えてください



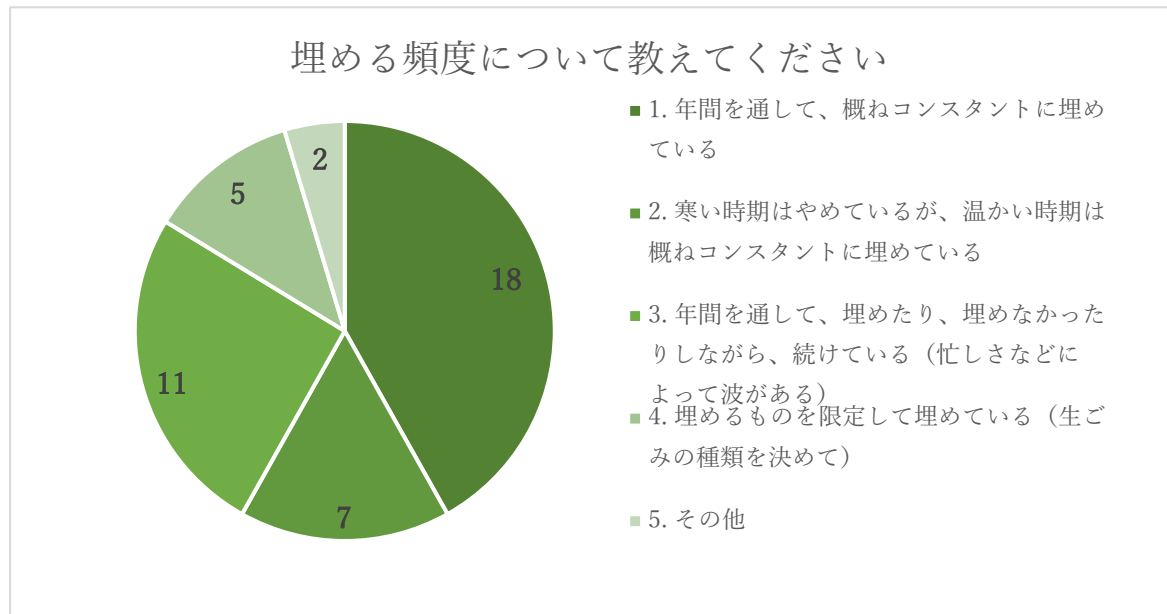
③ 使っている（使っていた）コンポストの種類を教えてください（複数選択可）



④ コンポストしている生ごみの量（割合）について教えてください



⑤ 埋める頻度について教えてください



⑥ コンポスト容器のサイズ（床面積）を教えてください。（深さは不要です。大体のサイズで構いません）
複数している時は、それぞれのサイズを教えてください

例）段ボール箱：40×30cm、プランター：20×50cm

【フェルトのカバン】

フェルトのカバン状の袋 15×30

LFC の袋分

LFC 40×25cm

LFC コンポストン状の袋 15×30

【プランター】

バケツ 20×20 2 個

プラ容器 20×30cm

プランター 20×40cm

プランター 20×50cm

プランター 20×50cm

プランター 20×50cm

プランター 20×50cm

プランター 20×50cm

プランター 20×60センチ 10 個

プランター 30×30×40 センチくらいのも

プランター 30×30（深さ 60）1 個、40×50（深さ 30）2 個、庭の専用コーナー30×100（地中 50）

プラばち 35x35

プランター 50cm×1m

【段ボール・発泡スチロール】

段ボール 310mm×325mm を 2 つ

段ボール箱：30×25、プランター：30×40

段ボール箱：40×30cm

段ボール箱：40×30cm

段ボール箱：40×30cm くらい

みかんの段ボール箱 40×30 くらいでしょうか

段ボール 40cm×47cm、発泡スチロール 18cm×35cm

ダンボール 40×30 cm、竹パウダー50×40 cm

発泡スチロール 40×50 cm

【植木鉢】

直径約 20 cmの植木鉢を 10 個並べて

植木鉢：直径 28cm 高さ 25cm

【庭、家庭菜園】

庭に穴 10×10cm

庭 40×40

家庭菜園 50cm×50cm

庭の片隅に直接：50×50cm

土中式 直径 60 c m

庭の土 1.5m×50cm、プランター20cm×40cm

4 畳 364cm×182cm

庭に埋めている

【その他】

キエーロ 20×30

ミラクルコンポ直径 50 c mくらい 2 個（隔年利用の為）

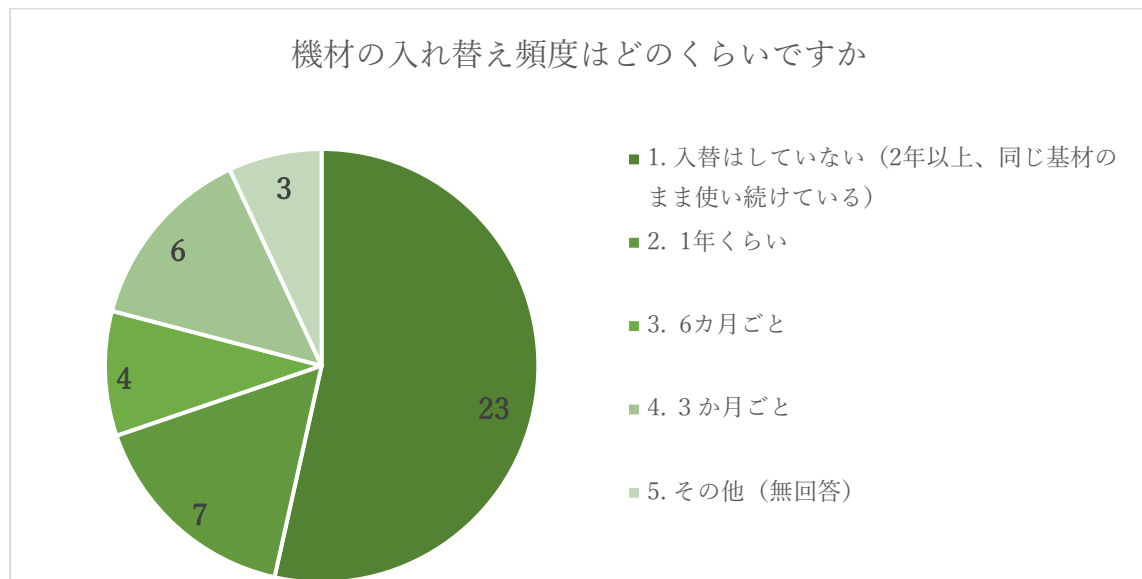
EM バケツ

不織布 20×40

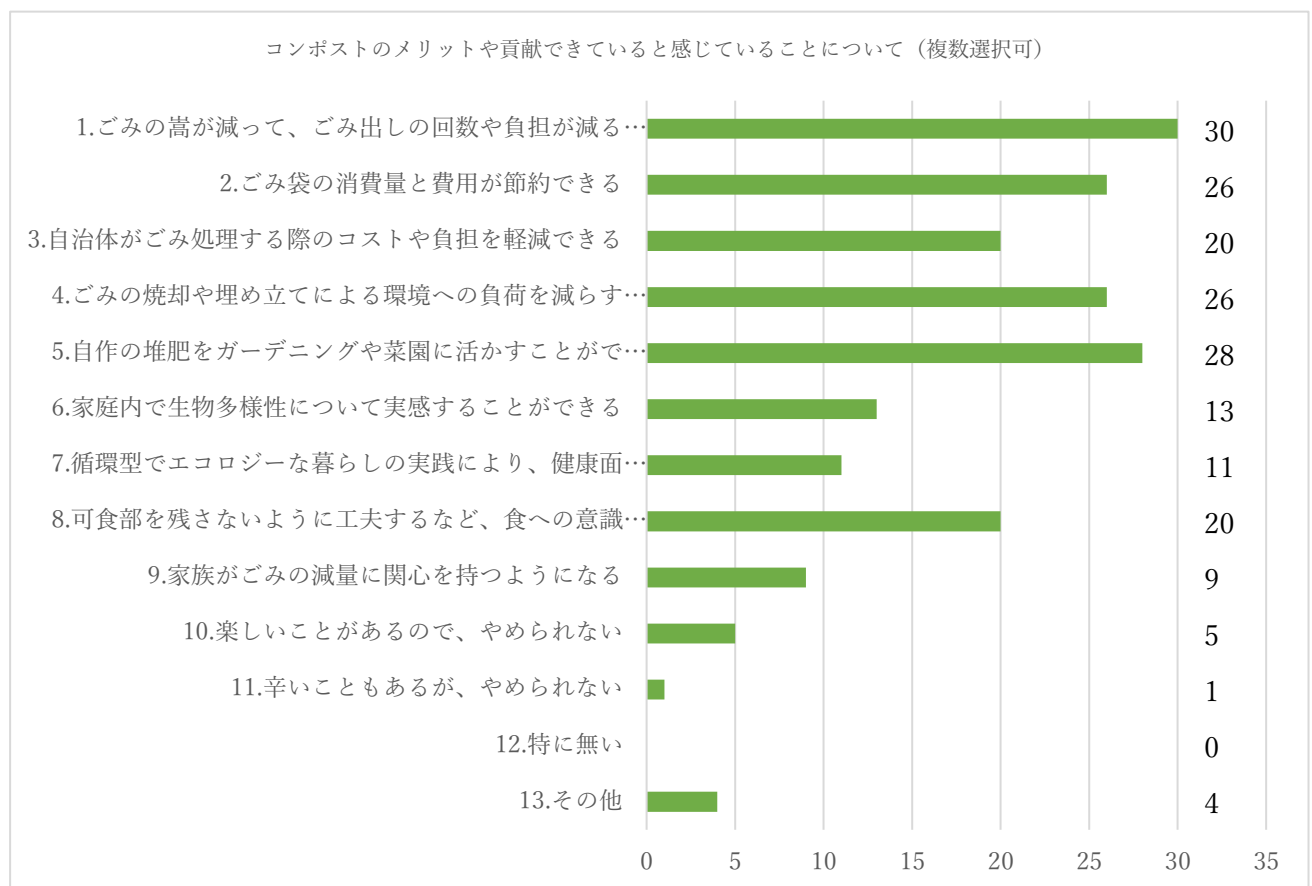
用土の袋:20×40cm

大きなビニールの袋 40 c m×30 c m

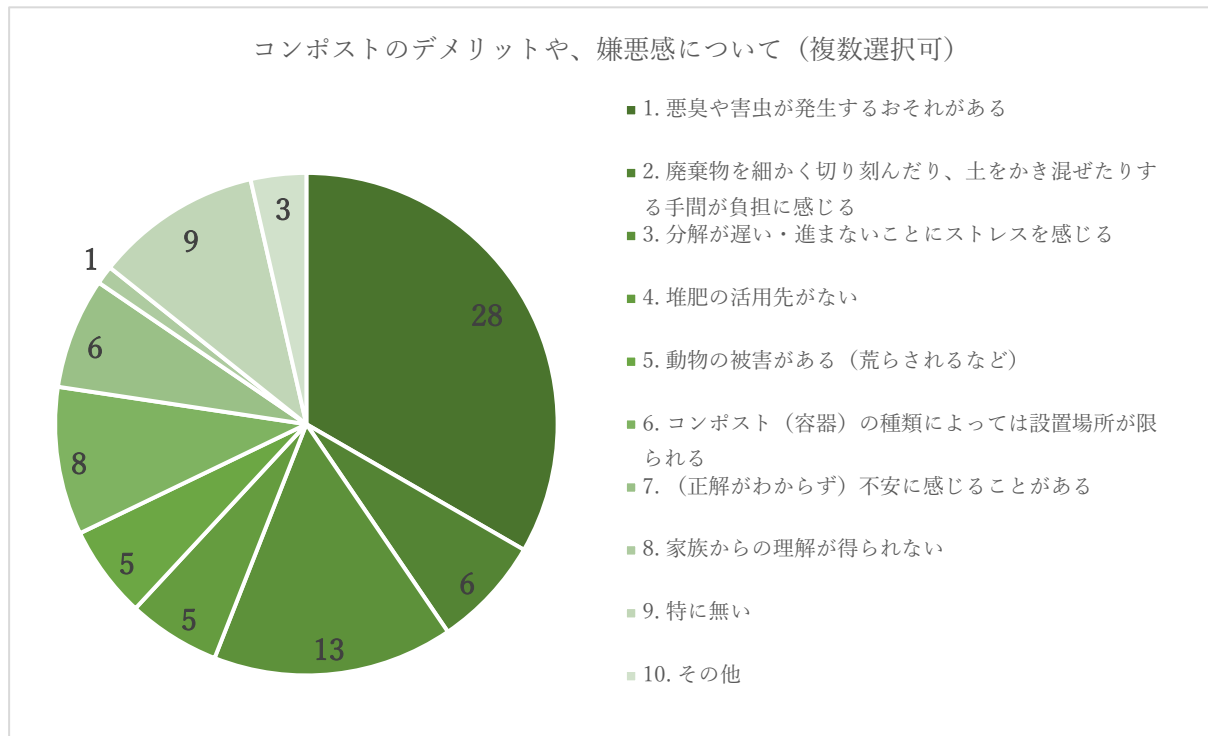
⑦ 基材の入れ替え頻度はどのくらいですか



⑧ コンポストのメリットや貢献できていると感じていることについて、該当するものにチェックを入れてください (複数選択可)



⑨ コンポストのデメリットや、嫌悪感について、該当するものにチェックを入れてください（複数選択可）



⑩ コンポストをやってみて、良いこと、嬉しかったことについて教えてください

【ごみの減量】

ごみの削減に寄与しているという自負心で、寒肥を植木に入れるときに喜びを感じる。

ごみを捨てる頻度が減りました。堆肥を観葉植物に使用していますが、元気に育つような気がします。

生ごみが減り、ごみ箱の生ごみ臭がなくなった など3件

ごみが減ることがただただうれしい

排出する家庭ごみ（燃やせるごみ）は、近隣家庭に比べて半分くらいだと感じています。 など8件

自分の排出したごみが一部でもめぐるサイクルになっていることで、納得できる。

市へのごみ出し量が少なくなっており、また、水分も少なく、焼却に必要なエネルギーの減少と焼却灰の減小が見込まれていることに実感しております。また、厨芥物をコンポストに入れて1年越しに土になっており、寒肥として利用して植物への肥料になって喜んでます。

【環境、観察】

環境に対する意識が高まった。

もともと生物が好きなので、そこへやってくる虫を観察でき、それによって庭の多様性に変化が起きていることが実感できること。

最近の急な雨で水浸しになることがあるが、その時は悪臭に悩むが、継ぎ足し継ぎ足し何とか継続してます。

段ボールコンポストには、夏場は小さなクモが住んでいます。そのおかげだと思いますが、小バエ等の虫の発生がなく、よくできたシステムだといつも感心しています。

生ごみの変化する様子が見られる事 4件

お茶はよく飲むし、意外と量も多いのでごみの量が減りました。お茶コーヒーだけなので匂いも気にならないし、分解して無くても割と平気で庭に撒いたりしてます。

育てている感覚。混ぜる作業が気分転換になる。

土に触れると癒されます！

豊かさを感じられる。

【罪悪感が減る】

野菜のヘタ等どうしても食べにくいものがある中で、それを捨てずにコンポストすることにより、大地の恵みを粗末にすることなくいただけているように思えて、気持ちが楽になりました

冷蔵庫でいたんでしまった野菜も、土に還すと思うと、焼却処理するほどの罪悪感を感じずにいられる。

ごみを出す量が減って罪悪感減る

【堆肥が使える】

プラ容器に入った農薬や化学肥料入りの土を買わなくてもいい。 2 件

堆肥は重くて買うのが面倒なので、自作できるのが嬉しい。野菜が上手くできたとき、とても嬉しいです！ 3 件

土がベットに思えることがある。分解は食べていると思えるので。

出来た堆肥は、庭やプランターの土壌改良、肥料として活用しています。 4 件

今年の夏は暑かったので、さらさらの良い堆肥ができた

引っ越し先の花壇の土代わりにコンポストを撒いたら、いろんなお野菜が芽を出してびっくり！かぼちゃやスイカが収穫できてこどもも喜んでました

ごみの削減に寄与しているという自負心で、寒肥を植木に入れるときに喜びを感じる。

⑪ コンポストをやってみて、嫌なこと、困ったこと、心配なことについて教えてください

【虫】

一度、昆虫が大量に発生したことがあり、それを少しずつ除去するのに 1 年位かかりました。落葉・家庭ごみの分解を促進してくれている昆虫ですが、大量発生には閉口しました。原因は容器内の湿度が過剰にならないように蓋を開けていたこと、だしガツオ等の動物性ごみを投入していたことです。

羽虫が発生して大量な時は嫌になる

夏場は虫がわきやすい 6 件

虫が湧く。分解が進まない。

泥蜂みたいなのが何故か段ボール内で発生し、タオルの蓋を開けられず。羽音がしなくなるまで放置せざるを得なかった。タオルで蓋をしていたので逃げられない様子。羽音がなくなり開けるといなくなった。土の中に巣がないか確認したが穴がなく、スコップでかき混ぜた。何故、中に成虫が入ったのかはわからない。

タンパク質系の生ごみ多めになった時、初めてコガネムシの幼虫が大量にわいた。観察は楽しいが、庭木の根を食い荒らす天敵なので憎らしい存在。かといって自分で殺すことが出来ず、迷いながらつい土中で育ててしまっているが、どこかに移動させる(河原に捨てに行くなど)ことは許されるのかどうか？

コンポストを開けて肥料として出しますと、必ず、蛹、かなぶんなどの幼虫がたくさん埋もれています 2 件

【分解が遅い】

野菜屑等を細かく刻む手間をかけられず大きいままコンポストに入れていたら、案の定発酵が非常に遅かったです それでも気長に待てば我が家的にはなんとかなっていた気がします

冬場は分解が遅くなるので、毎回は埋められないこと。

生ごみの量が土より多いとかびる。

袋などのプラスチックや樹木の枝が腐敗せずに残っていますので、それを分別するのは面倒ですが、何とかやっています。

冬は分解が遅れがち。（ぬかを試していないのでやろうと思います）

分解が進まずうまく入れ替えできなかったこと

忙しいときは畑に行けず、自宅の冷蔵庫に生ごみがたまってしまうのがストレスです。（繁忙期は結局ごみに出してしまうことも・・・）一旦自宅で堆肥を作る方法も試しましたが、その後畑に持っていくのがおっくうになってしまい中断しています。

分解が進まない。

たくさん入ると発酵が進みにくいのでお休みの期間を作ってみた

【臭い】

悪臭は家族が理解してくれれば済むが、ご近所にまで及ばないか気になる

大量の処理は臭いが出るので処理場所が限定される

枯れ枝や根の付いた草を入れると、枝は腐っていないし、根付きの草を入れると翌年、雑草が増える。

隣近所が近いと匂いや、不快害虫が集まるかもと思うと心配になる。

悪臭や家族の理解され難い

【不安】

上手く出来ているか分からない。

生ごみを投入しすぎたり、気温低下で、分解進まないときに、どうすればいいかと、もう一つ段ボールと腐葉土を増やして分けてみるが、終着点がはっきりせず。かつ出来上がりの活用場所がないので、気持ちのゴールが持てずモヤモヤ。

【動物】

猫がコンポストの周りを掘り返します。特に魚の残滓を入れると夜中には猫が集まり大変ですから、魚の残滓だけは市への普通ごみに出しております。

猫に土を掘り返されたり、ゴキブリが来ること

猿や鹿、最近は熊も出るので生ごみは出来ない。以前生ごみを埋めた時は、たぬきその他小動物がやって来た。

【環境】

発見ばかりで、失敗もたのしいです。

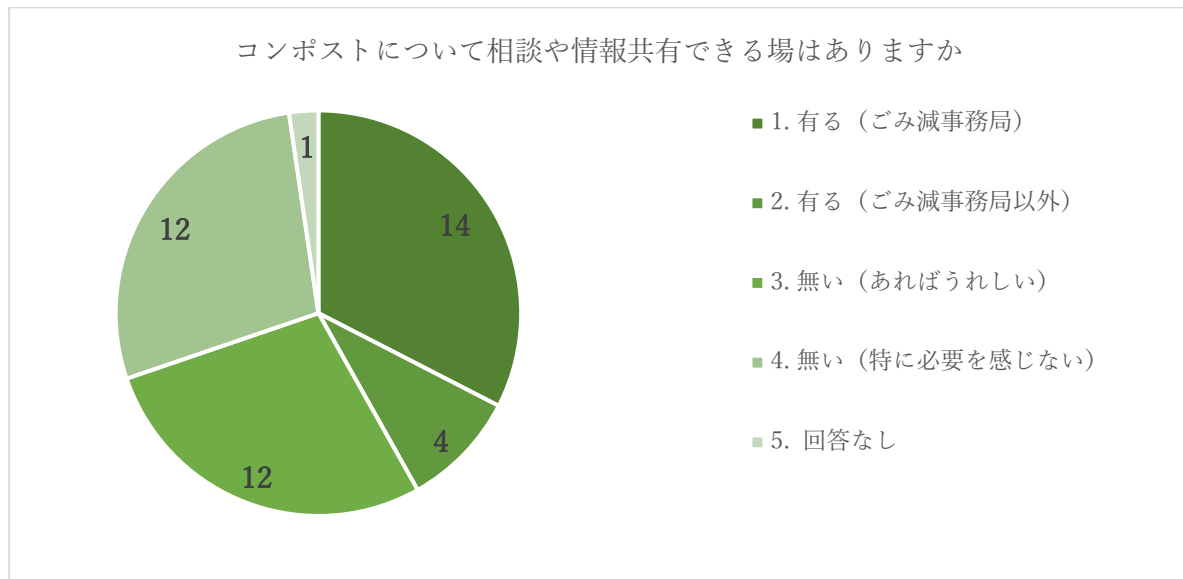
雨のかからない屋外というのが難しい。ベランダが 1 つで狭いので、洗濯物を干すところと同じ場所にコンポストを置くのは避けたいと思うと、置き場所がない。

分解が進んでなかったかもしれないが、今は不安で出来ません。

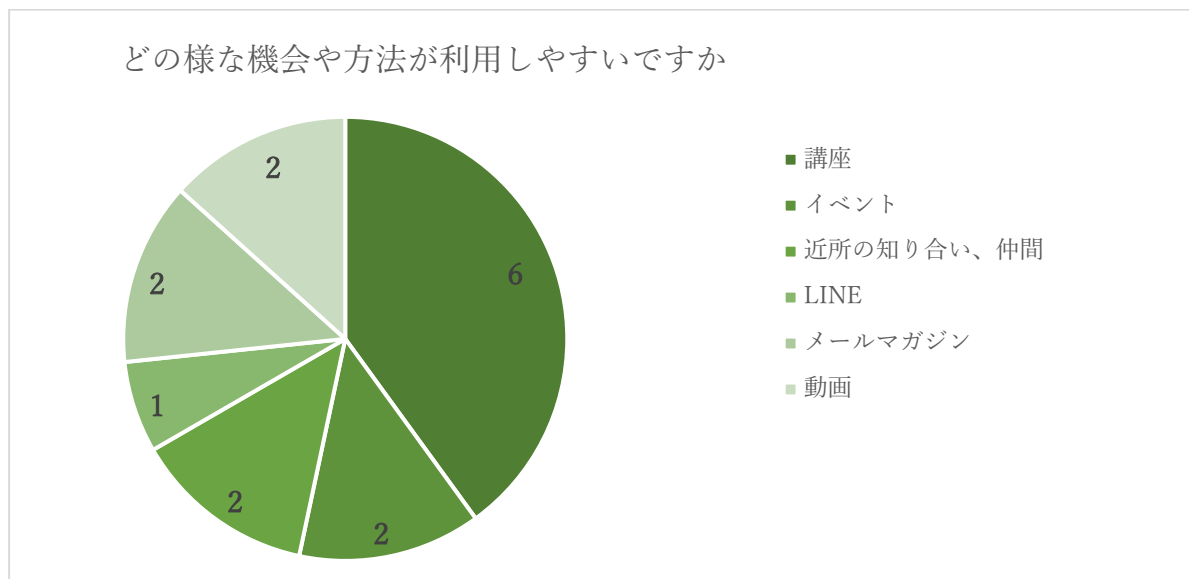
場所がなく直ぐに一杯になりやめてしまう！

特になし（４件）

⑫ コンポストについて、相談や情報共有できる場はありますか



⑬ 【上記の質問で「無い（あればうれしい）」を選択した方に】
どのような機会や方法が利用しやすいですか



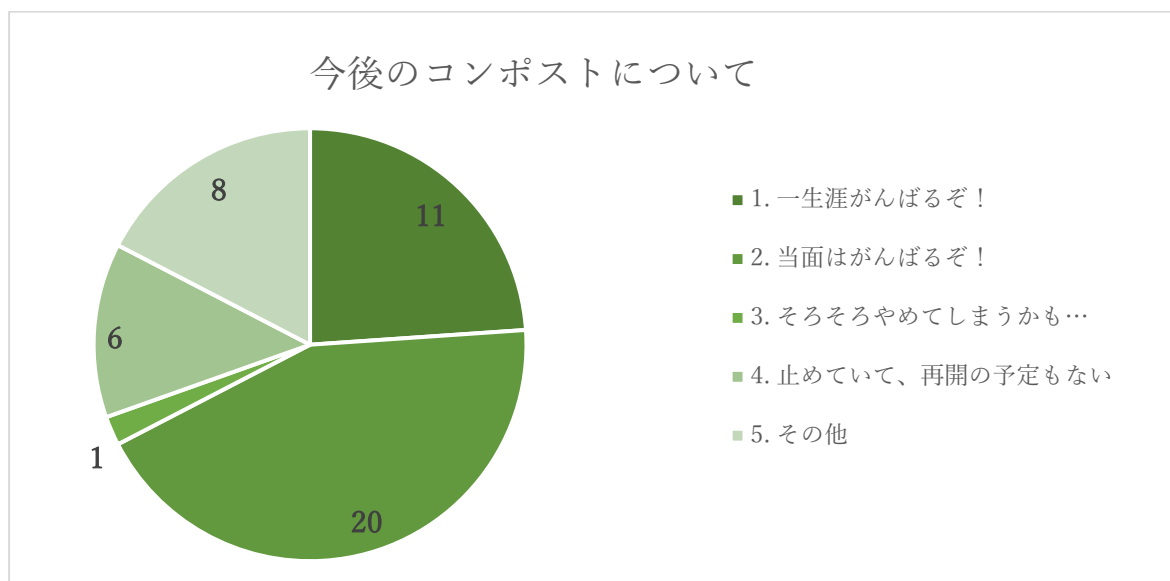
⑭ コンポストの取組について、自由にご記入ください。

- もっと、たくさんの人に伝わたらごみの量が減るので、色々な場所で伝えてほしいです。異常気象なども、被害だけを実感するのではなく、もっと行動につなげてほしいです。
- コンポストに興味を持つ人が周りに増えてきました。ごみが格段に減るとてもいいものなので、もっとたくさんの人が始めて欲しいなと思います。最近ごみ収集場所でカラスが生ごみをつつきます。コンポストをする方が増えればこのような困りごと減るかもしれません。
- キーロをまた作らせていただく機会があれば嬉しいです！（さすてな京都のイベント参加）

- コンポストの取組を本格的に始めたのは、「ごみ減」の Web セミナー・意見交換会でした。以前から興味を持ち、土のう袋で落葉の堆肥化をしていたのですが、前記セミナーで知識を得て、家庭ごみを投入する方法が理解できました。大変良い機会だったと思っています。
 - 基材を定期的に配布いただけるとモチベーションになります
 - ダンボールじゃない容器でいいのがあればなあと思っています（プランターは通気性的に問題ないのか不安です）
 - 夏はコンポストを入れる用と熟成用の 2 つにしています。どんどん分解が進むのでやりがいがあります。
 - 小さな子供から取り組める事を広めて欲しい。落ち葉の活用の方はないか。
 - 生ごみを庭に埋めて堆肥にしたら、今年は、紫陽花が例年より沢山咲いた。猛暑日な中感動しました。
 - 生ごみが減るので嬉しいが、早く分解させるために細かくするのが手間だと思ふことがある
 - 以前住んでいた家では大きなコンポスト用容器で生ごみ全て処理していましたが 庭が広く近隣に臭いの迷惑をかける心配がなかったから。京都市の家は庭が広くないので 限定的にならざるをえない。
 - 何人かに取組を声掛けした際、一番多い心配事が“虫”“臭い”だった。自分のコンポストは外にあるので何とも言えないが、確かに気密性の高い家屋だと、部屋でのコンポストは尻込みされるのかもしれない。それでも、そういうものを毛嫌いせず自然の一部であると感じる感性を子どもの頃からじっくり育てることが改めて大切と感じている。ごみ減さんの信念と長年の地道な取り組み、すごい！これからも頑張ってください。
 - 夏場は匂い、蚊や害虫などの発生があり、お隣さんの敷地内の物干しが当方の敷地内と近距離にあれば、出来るだけ離してコンポストを設置しています。また、通年では猫や鳥などのターゲットになります。廃棄したごみを混ぜるようによく言われますが、量が少なければ、出来そうですが、意外に家庭ごみもボリュームが無視できないくらい多いので難しいです。コンポストに厨芥ごみを入れる前に必ず、水分を台所で搾り取ることもとても大事です。
 - 「食物残渣は資源」という認識を全ての人が持ち、自治体はごみ処理にかかる費用を、食物残渣で堆肥を作るための補助金にまわして、食物残渣を使った堆肥造りがごみを出すのと同じくらい当たり前になるよう市民新聞などで積極的に啓発してほしい。
 - ネットワークづくりと、コミュニティコンポストへの広がりを期待しています。
 - 3ヶ月以上熟成し、完成したと思って土に混ぜた堆肥から、ミニトマトやピーマンが発芽することがあり、興味津々育てました。昨年は実がつきましたが、今年は大当たり？、花は咲けども実を結ぶ前にことごとく枯れて、これが F1 の呪いか(遺伝子操作？)と背筋が寒くなりました(段ボールコンポストの未成熟の堆肥から生えたカボチャもそうでした、雌花はあれども枯れていきました…)
- 一方、高知の師匠から分けてもらったささげ豆、丹波篠山の師匠から分けてもらった青じその固定種は、毎年花を咲かせ、実(種)がなり、昨年に命を繋いでいます。たった一坪の家庭菜園ですが、農業の進化(退化)をいっぺんに感じるができます。
- 紫蘇にはガが卵を生みに集まってきましたが、そこは我が家の守り神？ヤモリちゃんが夜な夜なパトロールをしてくれており、何とか人間が食べる分、虫が食べる分のバランスを保ってくれています。”
 - 分解を促進するものを希望者に配って欲しい。
 - やってみると、土の分解力のすごさに驚きます！そして、落ち葉の力にも。こどもの小学校では、用務員さんが独自に落ち葉や枯れ枝を集めて堆肥を作っていて、こういった取り組みをこども達と一緒に授業でしてもらえたらいいのになあ、と思います。
 - コンポストは土地付きの一戸建てでしか無理で、京都の自宅はマンションなので滋賀の別宅で 2 台置いています。どうしてもその年の廃棄物は翌年 1 年かけておいておく必要があります。(腐葉土化促進剤であればよいですが)

- 家の目の前が、回収場所に面していないお家のごみを集める場所になっているのですが、カラスが荒らしてひどい事になります。その度に片付けていたのですが、休日の回収日でもネットの片付けもされず、かなり虚しさがついています。その自分たちが出すごみに対する意識の低さに。食べ物のクズだけを回収する。なんて事は出来ないのかな…とか考えたりします。
- 近隣の市ではコンポストに補助金を出していると聞きました。そういうのはされませんかね京都市は。
- 知り合いの農家で堆肥を活用できるようなマッチングがあるといいです。今はレンタカーをして 1 時間かけて持ってきますが、家の近くの農家さんとハードルも下がります。その農家さんとながりができて、お野菜を買ったりする関係ができれば、地産地消・買い支えになり、コミュニティができてくると思います。
- 近くに共有のコンポストがあるといいなと思います。
- 大きな庭があれば活用先に困らず、虫も気にせず取り組める
- 途中でやめてしまい、申し訳ありません。
- 見た目以外で変化が分かったら面白いと思います。(温度、成分、微生物の変化など)
- 学校とかで取り組み活動ができるといい
- できる範囲で楽しめたら良いかと思います。
- 毎年参加していますが、参加者の声が参考になります。

⑮ 最後に、今後のコンポストについて



【その他のコメント】（止めている 4、続けている 2）

引っ越し後、いい置き場所がなく現在休止中です 末っ子が幼稚園に上がったらずいとはゆとりができてコンポストも再開できるといいなと思っています

今はやめているが、早く再開したい！

再開しようかな！

自分の続けやすい方法を探りたい。

少しずつマイペースに取り組みたい

アンケート結果ここまで

(参考) **コンポスト5年目アンケート設問**

① 現在も生ごみコンポストを継続していますか？

- ・継続している（一年中、ほぼ途切れず続けている）
- ・冬以外は継続している（冬場だけ止めているが、それ以外の時期は続けている）
- ・途切れ途切れ継続している（コンポストの容器は使える状態にある）
- ・事業終了後も続けていたが、現在は止めている→以下の設問は、実践していた時を想定して回答ください。
- ・このコンポスト事業の終了とともに止めた→以下の設問は、実践していた時のことを覚えている範囲でお答えください
- ・その他

② 継続の年数を教えてください

- ・5年以上（この事業に参加する前から）
- ・2～5年（この事業に参加してから）
- ・1年未満（この事業に参加終了後、再開はしたが続けていない）
- ・3か月～半年未満（この事業の参加期間のみ）
- ・その他

③ 使っている（使っていた）コンポストの種類を教えてください（複数選択可）

- | | |
|-------------|------------|
| ・段ボール | ・ダスクリンくるくる |
| ・プランター | ・庭の土に穴を掘って |
| ・キエーロ | ・みみずコンポスト |
| ・竹チップ、竹パウダー | ・その他 |
| ・LFC | |

④ コンポストしている生ごみの量（割合）について教えてください

- ・発生したものは、概ね（9割以上）コンポストしている
- ・発生した生ごみの半分以上はコンポストしている
- ・年間を通して、埋めたり埋めなかったりしながら続けている（3割以下）（忙しさなどによって波がある）
- ・特定のもののみ、コンポストしている（お茶っぱのみ、コーヒーかすのみなど）
- ・その他

⑤ 埋める頻度について教えてください

- ・年間を通して、概ねコンスタントに埋めている
- ・寒い時期はやめているが、温かい時期は概ねコンスタントに埋めている
- ・年間を通して、埋めたり、埋めなかったりしながら、続けている（忙しさなどによって波がある）
- ・埋めるものを限定して埋めている（生ごみの種類を決めて）
- ・その他

⑥ コンポスト容器のサイズ（床面積）を教えてください。（深さは不要です。大体のサイズで構いません）

- 複数している時は、それぞれのサイズを教えてください。 例）段ボール箱：40×30cm、プランター：20×50cm
- ・記述

⑦ 基材の入れ替え頻度はどのくらいですか

- ・入替はしていない（2年以上、同じ基材のまま使い続けている）
- ・1年くらい
- ・6か月ごと
- ・3か月ごと

⑧ コンポストのメリットや貢献できていると感じていることについて、該当するものにチェックを入れてください（複数選択可）

- ・ごみの高が減って、ごみ出しの回数や負担が減る（週 2 回から週 1 回など）
- ・ごみ袋の消費量と費用が節約できる
- ・自治体のごみ処理する際のコストや負担を軽減できる
- ・ごみの焼却や埋め立てによる環境への負荷を減らすことができる
- ・自作の堆肥をガーデニングや菜園に活かすことができる
- ・家庭内で生物多様性について実感することができる
- ・循環型でエコロジーな暮らしの実践により、健康面へのプラス効果を感じている
- ・可食部を残さないように工夫するなど、食への意識が高まる
- ・家族のごみの減量に関心を持つようになる
- ・楽しいことがあるので、やめられない
- ・辛いこともあるが、やめられない
- ・特に無い
- ・その他

⑨コンポストのデメリットや、嫌悪感について、該当するものにチェックを入れてください（複数選択可）

- ・悪臭や害虫が発生するおそれがある
- ・廃棄物を細かく切り刻んだり、土をかき混ぜたりする手間が負担に感じる
- ・分解が遅い・進まないことにストレスを感じる
- ・堆肥の活用先がない
- ・動物の被害がある（荒らされるなど）
- ・コンポスト（容器）の種類によっては設置場所が限られる
- ・（正解がわからず）不安に感じることがある
- ・家族からの理解が得られない
- ・特に無い
- ・その他

⑩コンポストをやってみて、良いこと、嬉しかったことについて教えてください（自由回答）

⑪コンポストをやってみて、嫌なこと、困ったこと、心配なことについて教えてください（自由回答）

⑫コンポストについて、相談や情報共有できる場はありますか

- ・有る（ごみ減事務局）
- ・有る（ごみ減事務局以外）
- ・無い（あればうれしい）
- ・無い（特に必要を感じない）

**⑬【上記の質問で「無い（あればうれしい）」を選択した方に】どのような機会や方法が利用しやすいですか
自由記述 例）メール、Line、電話、講座・イベント、近所の知り合いなど**

⑭コンポストの取組について、自由にご記入ください。感想やご意見、発見やアイデア、困っていること、企業や行政に期待すること、ごみ減事務局へのご要望など、何でも構いません。みなさまの声を聞かせください！

⑮最後に、今後のコンポストについて

- ・一生懸命がんばるぞ！
- ・当面はがんばるぞ！
- ・そろそろやめてしまうかも…
- ・止めていて、再開の予定もない
- ・その他

以上